

平成20年度事業報告

株式会社エフエム新津の平成20年4月1日～平成21年3月31日迄の事業報告を下記の通り報告する。
概 要

政府は、当面は「景気対策」中期的には「財政再建」中長期的には「改革による経済成長」という3段階で経済財政政策を進める。としておりますが、米欧発の金融危機は世界的な信用バブルの崩壊を引き起こし、不況はかつてない勢いで、全世界を巻き込み急降下の一途をたどっております。

日銀短観では、統計開始以来最悪の業況判断指数を示し、政府の経済基調判断でも急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。」と発表されております。

こうした厳しい状況の中で、企業の広告費削減等々の影響を受け、依然として厳しい状況で推移しました。必死の経費削減に努めましたが、収入の減少に追いつかない状況であります。

秋葉区の取組の一環である「コミュニティ放送を活用した地域防災体制の充実を図る」目的で設置された「緊急告知ラジオ設置事業」も3年目を向かえ、地域住民の認識・関心も向上してきており、積極的な協力活動が得られ順調に推移しております。

今後は、県・市・区が一体となった活用方法の構築を目指してまいりたいと思っております。先般の北朝鮮騒動等、今後いつ起こるか解らない事件・事故・災害に対し、地域住民の安全確保に、限られた範囲の住民へ情報を提供する為に設置されたコミュニティ放送局として、役立てる体制の確保に更に邁進する所存であります。

今年、異例の「天地人」ブームで新潟がクローズアップされております。

「キメキ新潟国体」「氷と土の芸術祭」と、新潟県をあげての取組が予定されており、新潟の元気発信の好チャンスを向かえております。

開局15周年を迎える節目と併せ、豊かな里山を控えた田園都市秋葉区から、地域情報を発信し、元気な新潟県を後押ししたいと考えております。

併せてコミュニティ放送局としての販路を開拓し、イベントチャンスを逃さず、基本理念である地域密着・住民参加・放送文化の向上に向けて、更なる活動を続け、累損の早期解消に鋭意努力する所存であります。

平成20年度 収支決算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日)

消費税込み表示
単位:円

科 目	H20年決算額
事業収入	53,906,502
事業支出	57,411,244
営業費用	57,411,244
番組費	10,622,369
技術費	4,266,480
販売費	6,681,693
人件費	27,855,432
管理費	7,985,270
営業外費用	0
法人税	192,050
当期損益	3,696,792
累計損益	22,952,158